

● 防災・減災教育

6年 **本冊**
p.140-141 ▶

5年「台風」、6年「大地」の学習に関連して「くらしを守る」というコーナーを設け、防災・減災教育の専門家で、減災という考え方の提唱者である河田恵昭先生監修のもと、災害に対する備えなどを扱い、防災・減災の意識を高められるようにしています。

地震や火山活動からくらしを守る

日本は、大昔から、地震や火山噴火によって、たびたび大きな被害を受けてきた。地震や火山噴火に備えて、わたしたちはどんなことが出来るか、調べてみよう。

【地震の危険】
日本には「地震帯」と呼ばれる地震が起きやすい地域があり、強い揺れが頻りに襲ってくる。日本の地震の被害は、世界でも多く見られる。

【緊急地震速報】
地震による大きな揺れが予想される時に発表される警報が、「緊急地震速報」です。緊急地震速報から危険の知らせは、早くても数秒から数分遅れがありますが、このわずかな時間にも、じょうずな身のまわりの準備が、けがや死傷を防ぐのに役立ちます。

【地震の観測】
日本には「地震帯」と呼ばれる地震が起きやすい地域があり、強い揺れが頻りに襲ってくる。日本の地震の被害は、世界でも多く見られる。

【地震の観測】
日本には「地震帯」と呼ばれる地震が起きやすい地域があり、強い揺れが頻りに襲ってくる。日本の地震の被害は、世界でも多く見られる。

【緊急地震速報】
地震による大きな揺れが予想される時に発表される警報が、「緊急地震速報」です。緊急地震速報から危険の知らせは、早くても数秒から数分遅れがありますが、このわずかな時間にも、じょうずな身のまわりの準備が、けがや死傷を防ぐのに役立ちます。

【地震の観測】
日本には「地震帯」と呼ばれる地震が起きやすい地域があり、強い揺れが頻りに襲ってくる。日本の地震の被害は、世界でも多く見られる。

【緊急地震速報】
地震による大きな揺れが予想される時に発表される警報が、「緊急地震速報」です。緊急地震速報から危険の知らせは、早くても数秒から数分遅れがありますが、このわずかな時間にも、じょうずな身のまわりの準備が、けがや死傷を防ぐのに役立ちます。

気象災害からくらしを守る

【台風の情報を取り取る】
台風は1年間に20〜30回発生し、そのうちいくつかは日本に上陸します。台風の被害からくらしを守るために、いろいろな情報を活用し、防災の備えに役立てましょう。

【台風の情報を集めよう】
インターネットを活用すると、最新の台風の情報を知ることが出来ます。テレビが1歩先駆けても最新の情報を知らせることが出来ます。

【日ごろの備え】
台風は1年間に20〜30回発生し、そのうちいくつかは日本に上陸します。台風の被害からくらしを守るために、いろいろな情報を活用し、防災の備えに役立てましょう。

【日ごろの備え】
台風は1年間に20〜30回発生し、そのうちいくつかは日本に上陸します。台風の被害からくらしを守るために、いろいろな情報を活用し、防災の備えに役立てましょう。

ひろげよう 地下のきよ大水そう

埼玉県春日部市の地下約50mのところには、国産によって約2.3kmに達する直径10mのトンネル型の地下湧出と、たて177m、横78m、高さ18mのきよ大水そうがあります。大雨で溢れたおちのち川田の水をこのきよ大水そうに一時的に集めて大湧出に被害を減らすことで防災に取り組んでいます。

防災の専門家として、河田恵昭先生監修のもと、災害に対する備えなどを扱い、防災・減災の意識を高められるようにしています。

▲ 5年 **本冊** p.60-61

5年 **本冊** p.119 ▶

● 環境教育 (ESD)

単元内の「理科の広場」では、自然を見つめる場面を数多く扱っています。また、6年「自然とともに生きる」単元では、ESD (持続可能な開発のための教育) の考え方を紹介し、身のまわりの環境に対し、「わたしたちにてきること」を実践する力が養えるようにしています。



▲ 3年 本冊 p.70-71



▲ 6年 本冊 p.184-185



▲ 6年 本冊 p.194-195



▲ 6年 本冊 p.197



▲ 5年 本冊 p.181

単元末の「ひろげよう」(→ p.18) や5・6年巻末の「地域資料集」でも、防災や環境に関する話題を豊富に取り上げています。